

2020年2月14日

産婦人科に通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、厚生労働省の「臨床研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名]

正常分娩の分娩曲線についての研究

[研究機関]

帯広厚生病院 産婦人科

横浜市立大学附属市民総合医療センター 母子医療センター

日本産婦人科学会 周産期委員会

[研究責任者]

服部 理史

[研究の目的]

正常なお産の進行かどうかを判断するためのひとつの目安として分娩曲線が知られています。現在示されている分娩曲線は1950年代に作成された古いものや、他には、無痛分娩や陣痛促進剤使用症例が含まれたデータから作成されたものが主流です。真の正常分娩の分娩曲線として、陣痛促進剤使用などのない正常分娩がどう進行するかを当院のデータベースを用いて情報を収集し、真の正常分娩の分娩曲線を作成することを目的としています。

[研究の方法]

以下の情報を診療録より収集し解析を行います。本研究は、横浜市立大学附属市民総合医療センター、日本産婦人科学会周産期委員会と共同で実施します。

母体年齢、非妊時BMI、経産回数、母体の既往歴、妊娠中の合併症、入院時の内診診断、分娩経過中の内診回数および時間と所見、分娩時間、分娩時出血量、分娩時の処置、出生児体重・身長・性別、UApH、Apgarスコア、入院中の新生児の処置

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌等で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[問い合わせ先]

北海道帯広市西14条南10丁目1番地

JA 北海道厚生連 帯広厚生病院

産婦人科 担当医師 吉井 一樹

電話 0155-65-0101